

1 学校評価委員会

校長、教頭、事務部長、教務主任、各校務分掌長及び担当係で構成する学校評価委員会を5回開催し、学校自己評価及び学校評価アンケートについて検討・実施した。

2 学校自己評価

①学校運営計画

年度初めに、教育方針及び学校運営計画（重点目標、具体的目標）を策定した。

②具体的目標・具体的方策

5月初旬に、学校運営計画に基づき各校務分掌、学年団、教科、学科において具体的目標・具体的方策を策定した。

③自己評価

最終評価（2月1日基準）を実施した。

④成果と課題

学校評価委員会において、学校自己評価及び学校評価アンケート等を総合的に検証してまとめた。詳細は「令和6年度学校自己評価【全日制】最終評価」を参照。

3 学校評価アンケート調査

①対象及び回答者数

生徒684名、保護者541名、教職員73名

②実施時期

令和6年12月24日～令和7年1月10日

③アンケート方法

今年度より forms を利用したアンケートを実施

④アンケート結果の検証と改善策

○「本校の授業は、わかりやすく工夫されていると思いますか」という問いに対して、「はい」と回答した生徒の割合が前年比で11%減、保護者の割合も7%減となっている。しかし、教員の「はい」の回答は13%増で、生徒・保護者の実態と教員の指導の工夫に食い違いがある結果になっている。授業評価アンケートの結果も参考にし、生徒の実態に即した指導、改善が必要と思われる。

○「本校では、健康・安全に関わる指導および学習環境の整備が積極的に行われていると思いますか」という問いに関して、「はい」と回答した人の割合が前年比で、生徒15%減、保護者も10%減であった。HR教室以外での空調設備が整っていない事に対する評価と思われる。自由記述欄においても空調設備に対する要望が多くあったが、予算の都合もあり、すぐに改善する事は難しい。設定温度の変更やスポットクーラーの台数増加など対応を考えていきたい。

○「学校から家庭への連絡や配付物などを通じて、必要な情報を不足なく得られていますか」という問いに対して、「はい」もしくは、どちらかというと「はい」と回答した保護者の割合は、81%と高い評価を得ているが、生徒の同様の回答は95%と大きく差が開いている。配付物が保護者まで届いていない家庭が一定数あると推測されるため、ミットメール等を活用し、確実に保護者に伝わるための工夫が必要である。

○総合的な評価においては、「はい」または、どちらかというと「はい」と回答した人の割合は、生徒・保護者ともに95%であり高い評価をいただいている。しかし、自由記述欄においては、授業の在り方や部活動について厳しいご意見をいただいております、より満足できる学校生活が送れるよう改善していきたい。

4 学校評価の公表

学校評価アンケート結果の検証と改善策を、生徒を通じて保護者に配布する。

学校ホームページに、学校自己評価結果及び校評価アンケート結果等を掲載する。